

白井さんの“大阪奮戦記-第1回-”



・今回は大阪府の運営の一部をご紹介します。

・まず「アクティブレフェリー登録」をして県の割当を積極的に受けられますという意思表示の登録をします。顧問やコーチもしている審判はアクティブ登録しない人も結構います。

2級はカテゴリー1, 2, 3と3段階に分けて半年単位で見直します。

① キックオフに来月のスケジュールを入力

2級は前月の10日まで、3級とインストラクターは20日まで

② 20日～28日頃までに 関西協会と大阪協会から割当メールが一覧表になってきます。割当担当はそれぞれ1名でやっています。それを見てキックオフに諾否を入力する。

両方合わせると、6月は208試合 7月は338試合です。

7月は平日が大変多く、前半、後半の2回に発信も分かれました。

③ メールだけでは調整がつかない試合が必ず出てくるので、当月内でも変更、調整のメールが数回送られてきて、全員での情報共有をします。

④ 審判やアセッサーのやり方は神奈川と変わりありません。

⑤ アセッサーの報告書はキックオフのインストで入っていった中の「アセスメントレポート」に2日以内に入力して、試験以外は公開を選びます。アセスメントレポートはインストラクター全員と当該試合の審判も閲覧することができます。

★ アセスメントレポートを共有できるのは大変便利です。自分が今度指導する

ことになる審判の過去のレポートを読んでどんな指導を受けたのか参考に
できますし、審判員も受けた指導を復習することができます。
神奈川もすでにキックオフに入力できるようになっているのでしょうか？

全体として試合数に比べてアクティブレフェリーが追い付いていないようで
1日2試合を實踐する審判も増えています。大きな大会が首都圏から関西に
移されているのも多少影響しているようです。
ただ運営の連携はよく取れていて効率はよいと思います。私も7月は最初に
書いたように4試合アセッサーが入りましたが、3試合は自身が審判をする
試合と同じ会場で前後の試合を割当されました。担当者は大変かと思いま
すが、少ない人数で審判、アセッサー、関西との調整を実施しているからできる
のだろうと想像しています。

8月9月は研修会が予定されているので、次回はその報告を中心にしたいと
思います。50代後半でも元気で活躍している審判もあり励みになります。
私も神奈川で育てられた財産があったからこそ、声をかけていただいていると
思いまし、「レベルが高い地域でやられていたんですね」と言われます。
体調に気をつけて暑い夏を楽しんで乗り切っていきたいと思います。